

令和5～6年度特集展

埋文新発見速報展2024

New Discovery Breaking Exhibition 2024

会期 令和6年1月16日(火)～4月7日(日)

会場 大分県立埋蔵文化財センター企画展示室

下郡遺跡群第150次調査

大分県立埋蔵文化財センターでは、国や県の事業などに伴って遺跡の発掘調査を毎年実施しています。本特集展では、近年の発掘調査で出土した旧石器時代から中・近世までの遺物をピックアップして展示を行い、その成果を紹介します。

いし がみ 石神城跡 (中津市大字牛神)

調査年度：令和2年度(2020)

調査原因：都市計画道路外馬場錆矢堂線街路改良事業

遺跡の時代：中世・近世

石神城跡は小畑氏の城館とも伝えられていますが、地表面で城跡に関連する遺構は確認できませんでした。発掘調査では、中世から近世にかけての土坑・溝跡・井戸跡などの遺構を確認し、土器・陶磁器のほか、漆器椀、下駄などの木製品が出土しました。鎌倉時代の食器であった瓦器椀や、室町時代の調理具であった備前焼播鉢などの遺物がみられます。



石神城跡出土 瓦器椀



石神城跡出土 備前焼播鉢



はま だ 濱田遺跡 (中津市大字牛神)



濱田遺跡出土 龍泉窯系青磁碗

調査年度：令和2年度(2020)

調査原因：都市計画道路外馬場錆矢堂線街路改良事業
遺跡の時代：中世

濱田遺跡は、石神城跡の東側に隣接した箇所¹に所在し、試掘調査によって新たに発見された遺跡です。

発掘調査では、江戸時代の洪水砂層に覆われた中世の水田跡が見つかりました。出土遺物から鎌倉～室町時代を中心とした遺跡であることが分かりました。

みや の しも 宮ノ下遺跡 (中津市本耶馬溪町)

調査年度：令和元年度(2019)

調査原因：一般国道212号三光本耶馬溪道路建設

遺跡の時代：縄文時代・弥生時代

宮ノ下遺跡は、試掘調査によって新たに発見した遺跡です。発掘調査では、土器を含む土層（遺物包含層）を確認し、縄文土器、弥生土器や、石鏃などの石製品が出土しています。明確な遺構は確認できませんでしたが、遺物の出土から周辺に遺跡が広がっている可能性が高いと考えられます。



宮ノ下遺跡出土 縄文土器深鉢



宮ノ下遺跡出土 石鏃

おか やま 岡山遺跡 (中津市本耶馬溪町)



岡山遺跡 全景

調査年度：令和2年度(2020)

調査原因：一般国道212号三光本耶馬溪道路建設
遺跡の時代：中世

岡山遺跡は現地踏査によって、新たに発見した遺跡です。発掘調査では、岩壁面にて6基の窟²を確認しました。窟の壁面には、ツルハシによる掘削痕や、チョウナノミなどの工具痕跡が残ります。窟には石造の地蔵菩薩像が安置されていました。

窟に残る工具痕跡の特徴から、中世に造営されていたと考えられます。

つね みち はる だ

恒道原田遺跡 (杵築市山香町)

調査年度：令和元年度(2019)

調査原因：県道山香院内線道路改良事業

遺跡の時代：旧石器時代～近世

恒道原田遺跡は、試掘調査によって新たに発見した遺跡です。弥生時代の土坑や古代の掘立柱建物、中世の土坑などの遺構を確認し、遺跡が断続的に営まれていることが分かりました。旧石器時代から近世に至る遺物が出土しました。旧石器時代の三稜尖頭器は、材質は腰岳産（佐賀県）の黒曜石です。三面を加工して、断面形を三角形に仕上げた細長い槍先形の石器で、投げ槍として狩猟に用いたと考えられます。



恒道原田遺跡 完掘状況



恒道原田遺跡出土 三稜尖頭器

しも ごおり

下郡遺跡群第150次 (大分市下郡)

調査年度：令和3年度(2021)

調査原因：都市計画道路庄の原佐野線（下郡工区）街路改良事業

遺跡の時代：弥生時代～近世

古代の遺構として井戸を確認しました。井戸は板材を正方形に組み、水を汲むための土師器甕が出土しました。中世の遺構としては、井戸、溝を、近世の遺構は、溝、墓、道路跡、井戸、土坑、柱穴を確認しました。近世の溝は南北方向と東西方向に延び、屋敷などを区画する施設であった可能性があります。溝からは、陶磁器や瓦、木製品が大量に出土しました。



下郡遺跡群第150次 古代井戸検出状況



下郡遺跡群第150次調査 完掘

しも ごおり

下郡遺跡群第151次 (大分市下郡)



下郡遺跡群第151次 調査区2空中写真

調査年度：令和4年度(2022)

調査原因：都市計画道路庄の原佐野線（下郡工区）
街路改良事業

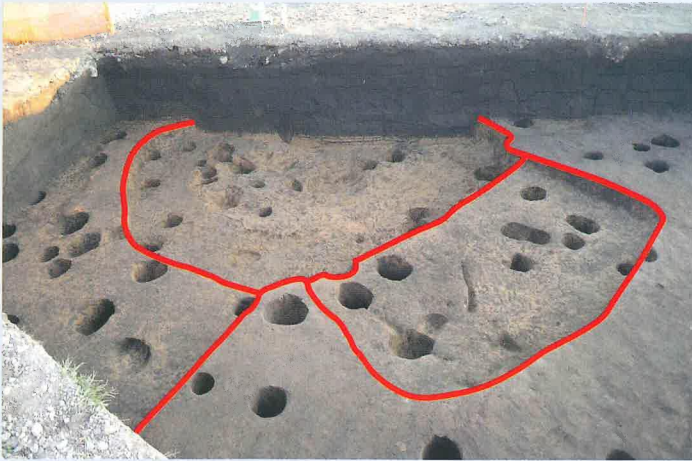
遺跡の時代：弥生時代～近世

下郡遺跡群第151次調査では、1,800㎡を対象に5つの調査区に分けて発掘調査を実施しました。

弥生時代の遺構は、土坑、溝を確認し、弥生土器・石器が出土しています。中世の遺構は、土坑、溝を、近世の遺構は、溝、墓、井戸、土坑、柱穴を確認しました。近世の溝は第150次調査と連続する遺構で、陶磁器や瓦、木製品が大量に出土しています。

じん ばこ

陣箱遺跡第4次 (豊後大野市三重町)



陣箱遺跡第4次調査 花弁形住居 完掘状況

調査年度：令和元年度(2019)

調査原因：県道百枝大野線道路改良事業
遺跡の時代：弥生時代・古墳時代・近世

陣箱遺跡は、弥生時代から古墳時代を中心とする集落遺跡で、令和元年度の発掘調査で第4次調査となります。

第4次調査では、弥生時代中期後半から古墳時代前期にかけての竪穴建物、土坑、掘立柱建物など、他に中世から江戸時代の道路跡が見つかっています。

竪穴建物の形は正方形がほとんどですが、そのうち1基は複数の張り出しがついて、花びらのような形をしています。このような形をした建物は県内では大野川流域で多く見つかっています。

展示資料一覧

遺跡名	資料名	時代
石神城跡	土師質土器坏	中世
石神城跡	土師質土器碗	中世
石神城跡	瓦器椀	中世
石神城跡	須恵質土器甕	中世
石神城跡	瓦質土器火鉢	中世
石神城跡	瓦質土器鍋	中世
石神城跡	瓦質土器播鉢	中世
石神城跡	備前焼播鉢	中世
石神城跡	漆器椀	中世
石神城跡	下駄	中世
濱田遺跡	石鏃	弥生時代
濱田遺跡	管状土錘	古代
濱田遺跡	緑釉陶器碗	古代
濱田遺跡	瓦器碗	中世
濱田遺跡	龍泉窯系青磁碗	中世
宮ノ下遺跡	縄文土器深鉢	縄文時代
宮ノ下遺跡	石鏃	縄文時代
宮ノ下遺跡	石斧	縄文時代
宮ノ下遺跡	敲石	縄文時代
岡山遺跡	五輪塔片	中世

遺跡名	資料名	時代
恒道原田遺跡	三稜尖頭器	旧石器時代
恒道原田遺跡	石鏃	縄文時代
恒道原田遺跡	弥生土器壺	弥生時代
下郡遺跡群第150次	土師質土器碗	中世
下郡遺跡群第150次	東播系須恵器控鉢	中世
下郡遺跡群第150次	龍泉窯系青磁碗	中世
下郡遺跡群第150次	高村焼鉢	近世
下郡遺跡群第150次	肥前染付碗	近世
下郡遺跡群第150次	肥前陶胎染付碗	近世
下郡遺跡群第150次	瓦質土器火鉢	近世
下郡遺跡群第151次	石鏃	弥生時代
下郡遺跡群第151次	石斧	弥生時代
下郡遺跡群第151次	石包丁	弥生時代
下郡遺跡群第151次	弥生土器甕	弥生時代
下郡遺跡群第151次	須恵器高台付坏	古代
陣箱遺跡第4次	磨製石鏃	弥生時代
陣箱遺跡第4次	台石	弥生時代
陣箱遺跡第4次	弥生土器甕	弥生時代
陣箱遺跡第4次	土器片加工品	弥生時代
陣箱遺跡第4次	磨製石鏃未製品	弥生時代
陣箱遺跡第4次	打製石斧	弥生時代

同時開催



令和5～6年度特集展 新発見速報展

会期 令和6年1月16日(火)～4月7日(日)

会場 大分県立埋蔵文化財センター 企画展示室

主催 大分県立埋蔵文化財センター

後援 大分合同新聞社 NHK大分放送局

OBS大分放送 TOSテレビ大分 OAB大分朝日放送